

平成30年4月10日

各位

会社名 株式会社 きよこう
代表者名 代表取締役会長兼社長 牧平 年廣
(コード: 2300、東証JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 安武 浩
(TEL. 092-503-0050)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期決算において、下記のとおり特別損失の計上を見込むとともに、平成29年4月14日の平成29年2月期決算発表時に開示した平成30年2月期通期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の計上の内容

当社の保有する固定資産のうち、収益性の低下が見られた工場について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失55百万円を計上いたします。

2. 当期の業績予想数値の修正（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,000	370	450	266	48.00
今回修正予想 (B)	6,636	199	289	136	25.58
増減額 (B - A)	△363	△170	△160	△129	—
増減率 (%)	△5.2	△46.0	△35.6	△48.7	—
(参考) 前期実績 (平成29年2月期)	6,803	361	446	94	16.98

3. 修正の理由

人手不足や原油価格の高騰による物価の上昇などを警戒する消費者の節約志向を背景に、当クリーニング業界でも、クールビズの浸透に伴うビジネスファッションのカジュアル化などの影響を受けて、総需要は減少傾向で、クリーニング所施設の総数は全国で減少するなど厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社は、営業面においては、春・秋の衣替えシーズンにキャンペーンを実施し、「オゾン&アクア/ドライ」ほか、当社付加価値商品の販売拡大と特別会員数の増大に努め、加えて、店舗の定休日や営業時間外でもご利用いただけるサービスとして「無人お渡しシステム」を設置し、時間帯を選ばずに利用可能で、忙しいビジネスマンや共働きの家庭など、お客様のニーズに合わせた新しいサービスをスタートしました。店舗政策では、直営店の営業強化のため新しい店長制度を創設し、新規出店については、事業の一部譲受けによる16店舗を含めて新たに22店舗をオープンし、不採算店32店舗を閉鎖して効率化を進めました。

しかしながら、クリーニング総需要の減少傾向に加えて、夏場の台風や記録的な長雨などの天候不順の影響を受けて需要が低迷したことにより、売上高は6,636百万円に留まり、売上高の減少と人件費の上昇により、営業利益は199百万円、経常利益は289百万円と当初予想を下回る見込みとなりました。また、当期純利益は特別損失として、上記の減損損失の計上を見込むことなどにより、当初予想より129百万円減少の136百万円となる見込みです。

*上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上